

ヨットは、向かい風でも進むんだよっ!



9月18日(土)ヨット体験教室(牛窓ヨットハーバー)

台風が過ぎ去るかどうかわからないままに天候が読めず最終的にヨットを出す段階になってから判断!という厳しい条件の中14人のスカウトがヨットの操縦にチャレンジしました。いつも練習しているはずの本結び、もやい結び、ひとえつぎ、八の字結び、巻き結びを息をするように使いこなさなくてはヨットを準備することもできません。日頃誤魔化しているスカウトはあれ?あれ?とか言いながら適当なことをするので、インストラクターから指導が入ります。悪戦苦闘の末「解けたら解けたでええんじゃ、俺は海のもずくと消える(それを言うなら藻屑な)」など、楽しい会話をしながらいよいよ海に出ます!

風も強い中スイットと体が進む感覚にスカウトたちは一気に大興奮! 水面ギリギリでバランスを取り、風の強さでひっくり返ると自分で体勢を立て直してヨットによじ登ります。ヨットの支柱をぐくって右に左に重心を変えながら風を受ける方向を探り、船の後ろの舵を切ります。午前中の座学でも学びましたが、向かい風でも帆の向きを調整することでヨットは進むことができます。ヨットハーバーから湾の中に設置されたブイまでの往復の短い距離ではありましたが、エンジンなし、筋力なし、バランスと風のみで往復して帰ってきました!

陸地に帰ってきた時の満面の笑み!「お前もずくなるんじゃないか!」と冗談もかき消されるほどの、爽やかで心から嬉しそうな表情を見ると、こちらも本当に嬉しくて心打たれる1日でした。後日談ではヨット部に入りたくなったスカウトもいるとか...^_^ 普段できない体験はスカウト活動ならではの! ちょっと背伸びして頑張ると、見えない景色が見えてきます。ほら、ヨットは向かい風でも進むんだよ! 君たち私たちの人生そのものじゃないか。(saori)

台風14号接近にあたり、実施出来るかが微妙な感じでしたが一応牛窓ヨットハーバーに集合する事に決定。最悪講義のみになるのか?ヨットハーバー担当石井さんと協議をして予定通りのプログラムで実施可能となりました。

午前中はヨットの構造や原理などをビデオ講義を受けたのち、艀装を実施。吹き戻しが安定していない中、再度担当の石井さんと協議。

5艇のみを海出すとの事で合意が得られ昼食後、いざ出陣しましたが風が安定せず苦戦! ヨットが横倒しになり起こすのにスカウトは苦戦! 乗り込めず苦戦! 経験者の隊長も帰れず苦戦!

その後インストラクターの補助で3人乗り込みヨット体験が修了しました。来年も実施予定として2日間でもっと基本習得を目指したいと思います。(takahashi)



9月5日(日)釣り道具レクチャー 吉備公民館

10月に予定の「釣りキャンプ」で使用する釣具についてのレクチャーを隊長より受けました。あらかじめ決めていた、それぞれのスカウトが狙う魚「アジ」「メバル」「ママカリ」「カサゴ」「アイナメ」「鯛」等々の魚を釣るための道具、釣り方、仕掛けの種類、餌の種類や注意事項などを実物や図解も交えて教わりました。同じ海釣りでも狙う魚によってこんなに釣り方が違うとは!!スカウト達は、当日の晩御飯を確実にGETすべく、集中して話を聞いていました。みんなで大漁を目指したいですね(yagi)

サポートに小林結愛さんのおじいちゃん(元団委員長)にも参加を頂き、釣りの基本説明などを頂きました。(takahashi)

9月26日(日)隊集会 吉備公民館

釣りキャンプin前島の計画を新班編成の班員ごとに分かれて計画を行いました。今までトナカイ班で班長を務めてくれた三宅班長の司会進行のもと出発時間から始まりスケジュールと釣り場、食事の計画、役割分担、安全計画、個人装備の計画とわずか2時間でまとめる事が出来ました。スカウト達だけでキャンプ計画を始めた4月には質問をする内容も解らず数日かかって出来なかったキャンプ計画がほんの5か月でこれだけの計画をまとめて行けるようになったスカウト達に大変うれしくなりました。(kaji)

10月2日(日)釣り班集会 吉備公民館

釣りキャンプに向け釣り道具、仕掛けについてクイズ形式での訓練を実施しました。サポートに小林結愛さんのおじいちゃん(元団委員長)にも参加を頂き、釣りの基本説明などを頂きました。(takahashi)

カブ隊通信

9月26日(日)オンライン隊集会

当初の活動がマンボウの為中止となり、Zoomを使った初のオンライン隊集会を執行しました。カブ隊にもオンラインの風がやってきたようです。各ご家庭で接続設定をしていただき、いざ入室です!

四苦八苦の開会式をし、まずは河本副長による基本的な操作説明から。ミュートや画面の切替、挙手やリアクションの使い方など一通り操作してみました。さすがはハイテク世代ですね、難なく使いこなしている様子。それから、防災にちなんだ〇×クイズ。取得した挙手やリアクションで回答をしました。

小休憩を挟み、ブレイクアウトルームを使った隊長からの暗号解読を出題!解けた人から正しいルームに入室していきます。なかなか苦戦していましたよ。

そして、閉会式をする頃にはソングもすっかりおてのものでした。オンラインだと各ご家庭から入ることになるので、どうしても「お家にいる感」が抜けないスカウトもいましたが、初めてのオンライン隊集会には上出来だったのではないのでしょうか。画面で見るスカウトのいつもと違った姿に、将来のサラリーマン像が浮かび上がり...かきました。完(michiko)



くま 男子3人



5組しか 井村天飛



9月10/11日 スカウトの日の活動について
今年のスカウトの日は、隊としての集会は行わず個人で家の周辺や公園等の地域清掃活動を行うこととしました。9/10か9/11で各自のタイミングで清掃活動を行なってもらい、その風景を写真に撮ってアルバムに残して頂きました。自主的に多くのスカウトが参加しており、隊長としてはうれしい限りです。みなさんお疲れ様でした。(Shinohara)

ビーバー隊通信

9月5日(日)みずってなに??(オンライン)

外での活動が難しいため、自宅でZOOMを使用したオンライン集会となりました。3本の動画を見て、日本のように蛇口をひねると飲める水が得られるという国は少ないのだということ、今も水くみに1日の大半を費やしている子どもがいることを知って、感想を述べてもらい、さらには水に関するクイズを行う予定でした。

ところが隊長の回線が不安定で、進行が進んだり止まったり、ついには応答なしになってしまいました。最後は副長が代理で進めることとなり、オンライン活動の難しさを実感する集会となりました。スカウトからは、水を大切に使うという意見を聞きましたので、よしとしましょう。(ujihira)

9月19日(日)こうえん たんけん隊♪(オフライン)

9月は、コロナ蔓延による対面活動の自粛期間です。今回は、隊長からの指令でじぶんのおいから一番ちかいこうえんで観察した自然や施設を絵やことばで表現してみることをしました。ほぼ全員参加。みんなに見てもらえるようにがんばりました。

- ①おまかに公園を描いてみる
- ②ながあるか。写真で撮るか、絵で描く
- ③こうえんはどこにどんな植物、虫などがあるか
- ④この公園の思い出
- ⑤この公園にこんなものがあるといいなと思うもの

身近な公園なので掃除をしたり、自分視線のみたものを友だちと共有することで、あらたな発見が生まれたり愛着がもつことを目的とした活動です。提出された宿題にはしっかりと特長が描かれていて一生懸命取り組んだことがわかります。

観察はスカウトに重要なスキルです。また違う季節の観察記録を待っています。近いうちにみんなの描いたのを共有しますので乞うご期待!(ozaki)



団のうごき



9月4日(土)大人の奉仕活動

地域内にある地場88箇所遍路道のお堂のひとつ(築70年)が老朽化により崩壊し、中のお大師様がころがり落ちてしまいました。

そこで崩れたお堂の解体整備作業を呼びかけたところ、大人4名とベンチャー八木史孝君が参加して、地元の人と一緒にどろんこになって片付けができました。

さらにツクボのOBが社長さんを務める「高島建設」さんが、お堂の修復を請け負ってくれ、もとより立派なお堂になって、お大師様も喜びましたとき。

団のトピックス!



元団委員長が人命救助で表彰!

元団委員長(ビーバー隊長も歴任)の小林康晴さんが、去る令和3年4月20日、岡山県から人命救助で「岡山県善行賞」を受賞されていました。ご本人は「ボーイスカウトとして当然のことしただけです」と、本紙への掲載を遠慮されていたが、敢えてここに発表させていただきます。